

令和7年 東海村消防出初式

出初式は、新年にあたり、一年間の無事故・無災害と住民の安全・安心を祈願するとともに、消防・防災関係団体の日頃からの献身的な活動をねぎらい、より一層の活動力強化を図ることを目的としています。



- 期日 令和7年1月12日(日)
- 時間 午前9時30分から(1時間30分程度)
- 場所 東海文化センター
- 内容 ▽式典 ▽分列行進 ▽観閲 ※荒天時は、午前9時30分から式典のみ開催します。
- サイレン吹鳴 式の挙行にあたり、当日は、午前7時から1分間、消防団各分団で団員招集のサイレンを鳴らします。実際の火災・災害とお間違えのないようご注意ください。
- 問い合わせ 防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当(☎282-1711 内線1523)※出初式当日は、東海消防署(☎282-2038)へお問い合わせください。

ふるさと歴訪
〜自然を探して〜

未来の自然環境に責任を持つⅡ

東海村理科活動専門員

安 敦之

一昨年度の9月、那珂市の菅谷西小学校近くをジョギングしていたところ、道路上に大型のタテハチョウが写真のように横たわっているのを発見しました。何らかの原因で死んでしまったようですが、翅は無傷で、とてもきれいな姿でした。一瞬その姿から「ゴマダラチョウか、もしかしたらアサギマダラ!」などと思いましたが、違っていました。

このチョウの名前は「アカボシゴマダラ」。外来生物で、東海村でもここ2〜3年、頻繁に見かけるようになってきました。歴史と未来の交流館の子ども向け自然観察会などでも、白方地区や村松地区でヒラヒラと優雅に飛んでいる姿を見かけました。

大きさは前翅長が40〜50ミリメートルもあります。黒地に白の斑紋があり、白黒のまま模様に見えます。また、このチョウ、英名では「Red ring skirt」といい、後翅後部の鮮やかな赤い斑紋が赤いスカートのように見えます(夏型)。また、もしこの時期にいたらクリスマスマスカンデルのようにも見えます。



【アカボシゴマダラ】
(令和4年9月11日 那珂市菅谷地区)

彼らは、外来生物ですから国立環境研究所からは「侵入生物」という不名誉なネーミングももらっています。その理由の一つは、食草がエノキで、国蝶のオオムラサキなどと同じなので、日本に昔からすんでいるチョウを森から追い出してしまうかもしれないからです。

また、繁殖力が強いことも厄介です。年に3回も繁殖し、その都度200個程度の卵を産みます。ということは、一つの個体から1年に相当な量の卵が産まれてくるということになるのです。ですから、日本の生態系を変えたり、日本のチョウに遺伝子汚染を引き起こしたりする可能性が大いにあります。現に、今まで存在しなかったアカボシゴマダラとゴマダラチョウの雑種が発生したという話も聞かれるようになりました。

さらに厄介なことは、彼らは「放蝶ゲリラ」と呼ばれる人たちが意図的に日本に持ち込み、関東で放したと考えられることです。